

新潟市人口ビジョン（骨格）

中長期展望
(2040年頃を視野)

【現状と課題】

- ・本市人口は既に減少傾向、2010(H22)年81.2万人が2040(H52)年に66.8万人と推計（国立社会保障・人口問題研究所）
- ・自然動態は死亡が出生を上回り人口減少が続いている
- ・社会動態は進学就職のタイミングである18、22歳といった年齢層の転出が顕著
- ・人口減少と年齢構成の変化による社会の活力や市民生活への影響が懸念
- ・急激な人口減少、人口構造の変化の緩和、克服により市民の安心安全を守る必要
- ・人口減少が進む新潟県の人口ダム機能を発揮し県都としての役割を果たす必要

【課題解決に向けた今後の基本的視点】

- 視点Ⅰ ずっと安心な暮らしの構築
- 視点Ⅱ 安心して子どもを産み育てられるまちの実現
- 視点Ⅲ 雇用創出・魅力発信で内外の人を引きつけるまちの実現

自然動態と社会動態への対応を両輪で進め
「持続可能なまちづくり」を実現

【本市人口の将来展望】

本市の将来人口の目標値を今後設定

なお、設定に際しては、今後実施する国勢調査などの各種統計データの分析や、市内高校生や大学生、若者、首都圏在住者への進学・就職・結婚・出産・子育てなどの意識調査をふまえ、人口規模や人口構成など多面的に本市の将来人口の姿を展望する。

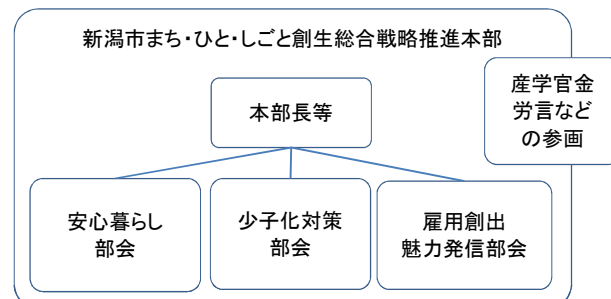
～参考～ 国は活力ある日本社会を維持するために地方創生に取り組み、人口減少に歯止めがかかると2060(H72)年に人口1億人程度を確保できるとしている。

人口ビジョン
を踏まえた
総合戦略へ

策定・推進体制等

○新潟市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略推進本部により、戦略等の策定・推進を図る

○庁内本部のほか、市民や産学官金労言など多様な意見を反映する



新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨格）

短期戦略
(5年間:2015～2019)

【基本的な考え方】

- 「にいがた未来ビジョン」が目指す方向性、取組みがベース
- 新潟市人口ビジョンに掲げる今後の基本的視点により重点的に取り組む

政策分野と具体的に取り組む施策の方向性

1. 地域力・市民力を活かし誰もが安心して暮らせるまちの構築

■基本目標 ▷ 基本目標とアウトカム指標を設定

【施策の方向性】

- 誰もが安心に暮らす
- 地域力・市民力を活かしたまちづくり
- 持続可能な公共交通
- まちなか活性化
- 良質な住環境、空き家活用

※施策ごとにKPIを設定

2. 結婚・出産・子育ての一貫した支援による少子化の克服

■基本目標 ▷ 基本目標とアウトカム指標を設定

【施策の方向性】

- 子育て支援
- 新潟らしい教育推進
- 出会いの場づくり
- 男女共同参画の推進
- ワーク・ライフ・バランスの推進

※施策ごとにKPIを設定

3. 成長産業育成、創業支援などによる雇用創出、 地域資源を活かした魅力づくりと発信

■基本目標 ▷ 基本目標とアウトカム指標を設定

【施策の方向性】

- 成長産業の育成（ニューフードバレー、航空機関連）
- 12次産業化
- 創業支援
- 防災・救援首都
- 若者の定住、移住の促進
- 多様な交流

※施策ごとにKPIを設定